

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2023年11月1日提出
【発行者名】	PayPayアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 明丸 大悟
【本店の所在の場所】	東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
【事務連絡者氏名】	岩井 章悟 連絡場所 東京都千代田区神田錦町一丁目1番地
【電話番号】	03-6275-0936
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	PayPay投信AIプラス
【届出の対象とした募集内国投資信託受益証券の金額】	10兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2023年2月9日付をもって提出した有価証券届出書（2023年8月3日付をもって提出した有価証券届出書の訂正届出書により訂正済みです。以下、「原届出書」といいます。）の記載事項につきまして、信用取引は行わないこととすること及びデリバティブ取引について新NISAの成長投資枠の対象要件を満たすことを明確にすることを目的に関係情報を訂正するため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

原届出書の下記事項のうち以下に記載した箇所を、＜訂正前＞の内容から＜訂正後＞の内容に訂正します。

下線部_____は訂正部分を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

（1）【ファンドの目的及び基本的性格】

<訂正前>

（省略）

ファンドの特色

（省略）

信用取引を活用し、株式の売建てを行なう場合があります。

（省略）

<訂正後>

（省略）

ファンドの特色

（省略）

（削除）

（省略）

2【投資方針】

（1）【投資方針】

<訂正前>

（省略）

投資態度

（省略）

信用取引を活用し、株式の売建てを行なう場合があります。

（省略）

<訂正後>

（省略）

投資態度

（省略）

（削除）

（省略）

(5)【投資制限】

<訂正前>

(省略)

信用取引の指図範囲(信託約款)

1. 委託者は、信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売付けることの指図をすることができます。なお、当該売付けの決済については、株券の引渡しまたは買戻しにより行なうことの指図をすることができるものとします。
2. 上記1.の信用取引の指図は、当該売付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
3. 信託財産の一部解約等の事由により、上記2.の売付けに係る建玉の時価総額が信託財産の純資産総額を超えることとなった場合には、委託者は速やかに、その超える額に相当する売付けの一部を決済するための指図をするものとします。

(省略)

流動性リスク管理態勢の整備(金融商品取引業等に関する内閣府令)

投資信託財産の運用に関し、保有する有価証券その他の資産の流動性に係る管理について受益者の解約の申入れに応ずることができなくなることを防止するための合理的な措置を講ずることなく、当該運用を行なうことはできません。

<訂正後>

(省略)

<削除>

(省略)

流動性リスク管理態勢の整備(金融商品取引業等に関する内閣府令)

投資信託財産の運用に関し、保有する有価証券その他の資産の流動性に係る管理について受益者の解約の申入れに応ずることができなくなることを防止するための合理的な措置を講ずることなく、当該運用を行なうことはできません。

デリバティブ取引の利用目的(信託約款)

デリバティブ取引(法人税法第61条の5に定めるものをいいます。)は、投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的ならびに価格変動リスクおよび金利変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

3【投資リスク】

<訂正前>

(1) 投資リスク

（省 略）

株価変動リスク

一般に、株式の価格は経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響を受け変動しますので、当ファンドが組入れている株式の価格が変動し、損失を被るリスクがあります。また、当ファンドは、信用取引を活用し、株式の売建てを行なう場合があります。売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。

（省 略）

<訂正後>

(1) 投資リスク

（省 略）

株価変動リスク

一般に、株式の価格は経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響を受け変動しますので、当ファンドが組入れている株式の価格が変動し、損失を被るリスクがあります。

（省 略）